

# 着付け職種技能検定 2級学科試験

平成30年6月12日（火）

一般社団法人全日本着付け技能センター

問題 1. 時代と服装の関係について、下記の中から適当なものを1つずつ選び、記号を記入しなさい。

1. 弥生時代

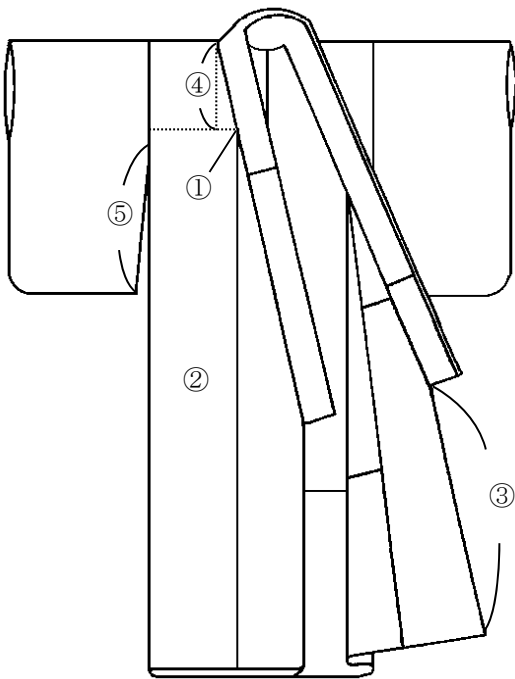
2. 江戸時代

3. 昭和時代

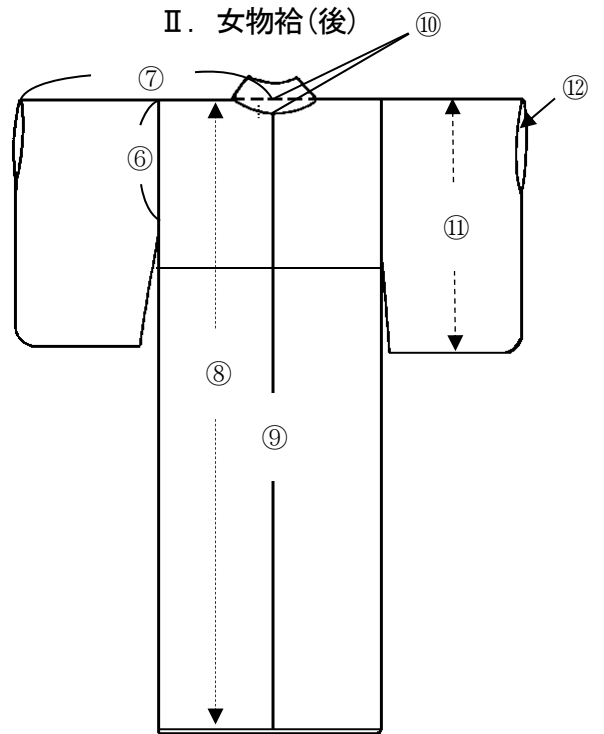
ア. 友禪染    イ. 十二単    ウ. 貫頭衣    エ. 訪問着

問題 2. 次の着物の各部位の名称について、それぞれの語群の中から適当なものを1つずつ選び、記号を記入しなさい。

I. 女物袷(前)



II. 女物袷(後)



〔 語 群 I 〕

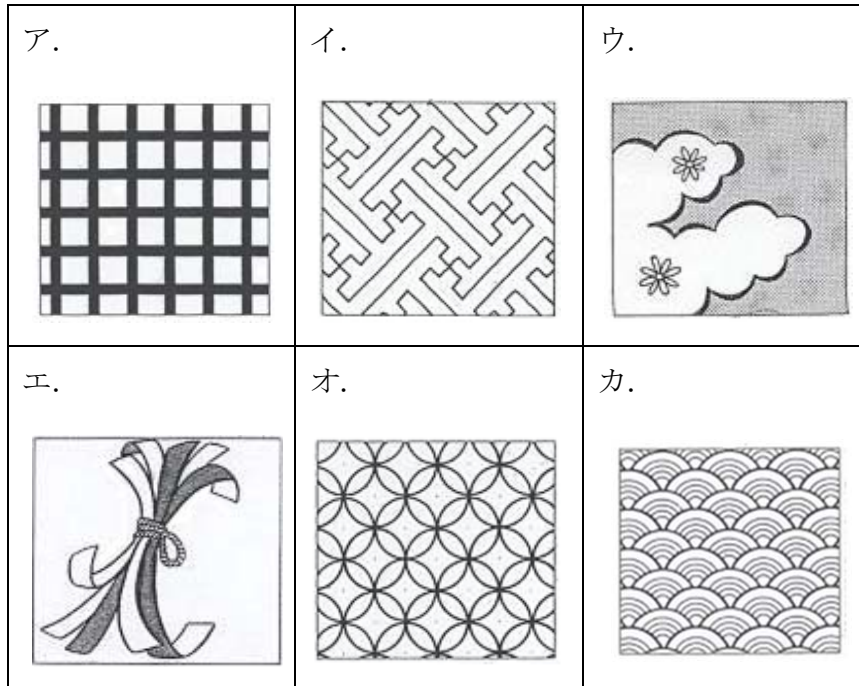
ア. 衽下がり    イ. 衿下 (棲下)    ウ. 剣先  
 エ. 抱幅    オ. 振り    カ. 共衿 (掛衿)  
 キ. 前身ごろ    ク. 衽    ケ. 身八つ口

〔 語 群 II 〕

コ. くり越し    サ. 袖丈    シ. 後身ごろ  
 ス. 袖付    セ. 身丈    ソ. 脇縫い  
 タ. 衿    チ. 背縫い    ツ. 袖口

問題3. 次の代表的な古典文様の名称について、下記の中から適当なものを1つずつ選び、記号を記入しなさい。

- |        |        |       |
|--------|--------|-------|
| 1. 格子  | 2. 青海波 | 3. 熨斗 |
| 4. 紗綾形 | 5. 七宝  | 6. 雲取 |

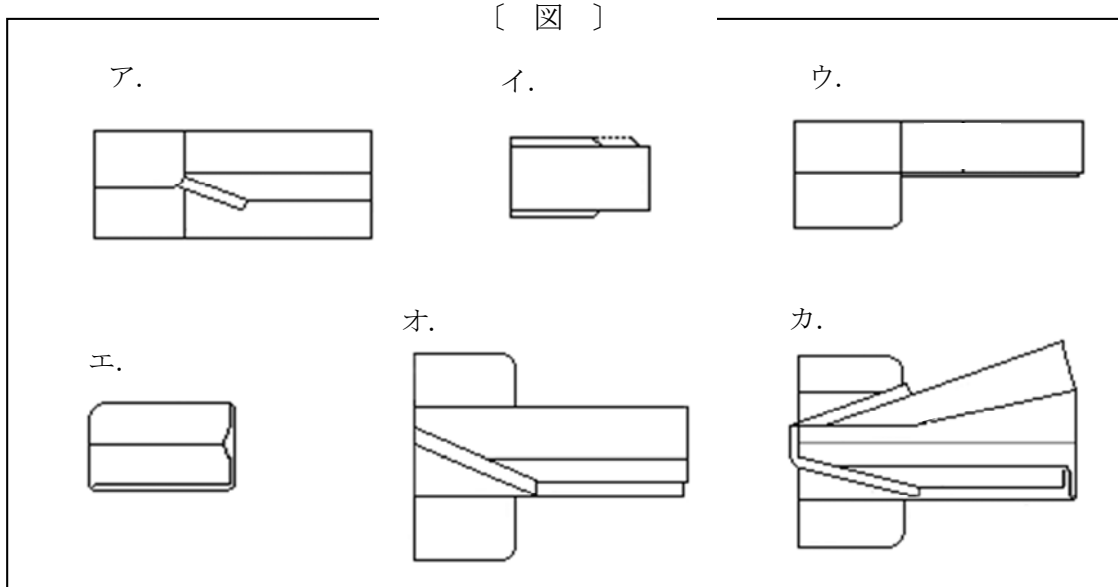


問題4. 次の男女の着物の違いについて述べた文章について、正しい方を選び記号を記入しなさい。

1. 女物の着物には身八つ口が (ア. あり イ. なく)、(ウ. 人形 エ. 振り) がある。
2. 男物の着物は (ア. 着丈 イ. 身丈) に仕立ててあり、女物の着物は (ウ. 着丈 エ. 身丈) に仕立ててある。
3. 男物の着物の衿は、くり越しが (ア. あり イ. なく)、(ウ. 広衿 エ. 棒衿) である。

問題5. 着物（本だたみ）のたたみ方について、下記の図の中から必要なものを選び、正しい順序になるように並べて、記号を記入しなさい。

( 1 ) → ( 2 ) → ( 3 ) → ( 4 )



問題6. 次の説明文についてあてはまるものを下記の中から1つずつ選び、記号を記入しなさい。

1. 絹                      2. 塩瀬                      3. 縮緬

ア. 玉繭、真綿、くず繭などを使用して織った、平織の絹織物。  
 イ. 薄くて織り目が透けている、夏着に使われる絹織物。  
 ウ. たて糸に撚りのない生糸、よこ糸に撚りの強い生糸を用いて平織にしたのち、特殊な液体に入れて煮て精練して仕上げた絹織物。「しぼ」という凹凸がある。  
 エ. 羽二重地の厚い絹織物。布面によこ畝が現れるのが特徴。

問題7. 下記の空欄にあてはまる染めの手法を選び、記号で記入しなさい。(同じ記号を何度使用してもよい。)

衣服地には、織糸を染めてから織るものを ( 1 ) といい、生地にしてから染める ( 2 ) とがあり、紗は ( 3 ) で、絹は ( 4 ) である。

ア. 先染                      イ. 後染

問題 8. 着物の用途、格等に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選び、記号を記入しなさい。

- ア. 上前の胸に柄があり、前身ごろと衽の柄がつながっているものを付下げ訪問着という。
- イ. 留袖に合わせる帯は染名古屋帯でもよい。
- ウ. 小紋に名古屋帯を合わせると礼装になる。
- エ. 紬の訪問着は、礼装にはならない。

問題 9. 次の文章のうち正しいものを1つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア. 三つ紋は背紋1つと抱き紋2つである。
- イ. 訪問着の紋は、染め抜き五つ紋の陽紋・縫紋が一般である。
- ウ. 紋服の紋は、染め抜き五つ紋の日向紋（陽紋）である。

問題 10. 次の帯に適した着物を下記の中から選び、記号を記入しなさい。

- 1. 袋帯
- 2. 角帯
- 3. 染名古屋帯

|        |          |        |
|--------|----------|--------|
| ア. 黄八丈 | イ. 男物の着物 | ウ. 訪問着 |
|--------|----------|--------|

問題 11. 次の文章の空欄に最も適当なものを下記の中から1つずつ選び、その記号を記入しなさい。

1. 半衿は、( ① ) が一番格が高く、縮緬より上である。
2. 伊達衿は、( ② ) を略したもので、着物の衿の下にもう一枚重ねる衿のことをいう。
3. 帯揚げは ( ③ )、無地物などがあり、装飾的な意味合いが強い。
4. 白の丸ぐけの帯締めは ( ④ ) として用いられる。

|        |        |        |
|--------|--------|--------|
| ア. 絞り  | イ. 帯板  | ウ. 裾よけ |
| エ. 礼装用 | オ. 比翼衿 | カ. 塩瀬  |

問題 12. 次の着物と小物の合わせ方の組合せのうち、正しいものを2つ選び、記号を記入しなさい。

|            |       |            |
|------------|-------|------------|
| ア. 訪問着     | _____ | 帯揚げ (色物)   |
| イ. 浴衣      | _____ | 袋帯         |
| ウ. 中振袖 (袷) | _____ | たび (柄もの)   |
| エ. 男子紋服    | _____ | 扇 (黒骨金銀末広) |
| オ. 黒留袖     | _____ | 帯揚げ (色物)   |
| カ. 小紋      | _____ | 織の名古屋帯     |

問題 13. 次の着物の着用時季について、最も適当なものを、下記の中から1つずつ選び、記号を記入しなさい。

1. 6月と9月
2. 7月から8月
3. 10月から5月

|          |             |         |
|----------|-------------|---------|
| ア. 絹の色無地 | イ. 付下げ訪問着の袷 | ウ. 小紋の単 |
|----------|-------------|---------|

問題 14. 着物の着付けをするときの心得として、誤っているものを2つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア. 着付けを始める前は丁寧に一礼をする。
- イ. 着付けをする時は、衣裳は衣裳箱に入れる。
- ウ. お客様の状況や、その場にふさわしい身なりを心がける。
- エ. お客様をお待たせしないために、お化粧をした後でも、手を洗わずにすぐに着付けに取り掛かる。
- オ. ひも類は、首や肩にかけて作業をする。

問題 15. 次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- ア. パーマネントウェーブ・結髪・化粧等の方法により容姿を美しくすることは、美容師でなければ業として行うことができない。
- イ. 美容師免許を取得すれば、全国どの都道府県でも美容を業として行うことができる。
- ウ. 美容師でなければ、花嫁の結髪・化粧を業として行えない。
- エ. 有料で着物を着付ける場合は、美容師免許がなければ行えない。

全日本着付け技能センター

2級学科試験【模範解答】

平成 年 月 日( )

|      |   |
|------|---|
| 受験番号 | — |
|------|---|

|    |  |
|----|--|
| 氏名 |  |
|----|--|

問題1 (各2点)

|     |     |     |
|-----|-----|-----|
| 1 ウ | 2 ア | 3 エ |
|-----|-----|-----|

問題2 (各2点)

|     |     |     |      |      |      |
|-----|-----|-----|------|------|------|
| 1 ウ | 2 キ | 3 イ | 4 ア  | 5 オ  | 6 ス  |
| 7 タ | 8 セ | 9 チ | 10 コ | 11 サ | 12 ツ |

問題3 (各1点)

|     |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1 ア | 2 カ | 3 エ | 4 イ | 5 オ | 6 ウ |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|

問題4 (各1点)

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | エ | 2 | ア | エ | 3 | イ | エ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

※順不同

問題5 (各2点)

|     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|
| 1 カ | 2 オ | 3 ウ | 4 イ |
|-----|-----|-----|-----|

問題6 (各2点)

|     |     |     |
|-----|-----|-----|
| 1 イ | 2 エ | 3 ウ |
|-----|-----|-----|

問題7 (各2点)

|     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|
| 1 ア | 2 イ | 3 ア | 4 イ |
|-----|-----|-----|-----|

問題8 (各2点)

|   |   |
|---|---|
| ア | エ |
|---|---|

※順不同

問題9 (2点)

|   |
|---|
| ウ |
|---|

問題10 (各2点)

|     |     |     |
|-----|-----|-----|
| 1 ウ | 2 イ | 3 ア |
|-----|-----|-----|

問題11 (各2点)

|     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|
| 1 カ | 2 オ | 3 ア | 4 エ |
|-----|-----|-----|-----|

問題12 (各2点)

|   |   |
|---|---|
| ア | カ |
|---|---|

※順不同

問題13 (各2点)

|     |     |     |
|-----|-----|-----|
| 1 ウ | 2 ア | 3 イ |
|-----|-----|-----|

問題14 (各2点)

|   |   |
|---|---|
| エ | オ |
|---|---|

※順不同

問題15 (2点)

|   |
|---|
| エ |
|---|